

GK情報レポート

【2019年発行】

vol. 58

新春号

発行者

権田金属工業株式会社 営業部

〒252-0212

神奈川県相模原市中央区宮下 1-1-16

電話 042-700-0221

FAX 042-700-0660

E-mail: eigyo@gondametal.co.jp

<http://www.gondametal.co.jp>

Contents

1. 新年ご挨拶
2. 加工品について
3. 創業 100 周年記念式典
4. 展示会報告
5. 第 126 回 GK 会
6. 相場情報『2019 年第 1 四半期見通し』

皆様でご回覧下さい。

回覧印										
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※バックナンバー（Vol.1～57）を用意しております。ご希望の方は当社営業部までお問い合わせ下さい

権田金属工業株式会社

1. 新年ご挨拶

明けましておめでとうございます。

旧年中は格別のご愛顧を賜りましてありがとうございます。

当社は昨年10月10日に創業100年を迎えることができました。

これもひとえに皆様のご支援のお陰でございます。まことにありがとうございます。

昨年は日本経済も経済成長が続き、伸銅品の生産量も久しぶりに年間80万トンを超えることができました。

当社の生產品目である銅ブスバー、銅丸棒、黄銅丸棒は他の繁忙だった品種に比べるとそれほど増えているわけではありませんが、銅ビレットの入手難や当社の人手不足が重なり、納期面でご迷惑をおかけしてまいりました。

今年はできるだけ早くそれらの問題を解消して、皆様のご希望に添えるように努力を重ねてまいります。

また昨年後半から加工品の引合いを多数いただけるようになりました。従来からの素材の供給にとどまらず、加工品や組み立てまで含めた部品の供給でもお役に立てるように頑張っております。

今年も変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

ありがとうございます。

権田金属工業株式会社

代表取締役社長 権田源太郎



ホテルニューグランドにて

2. 加工品について

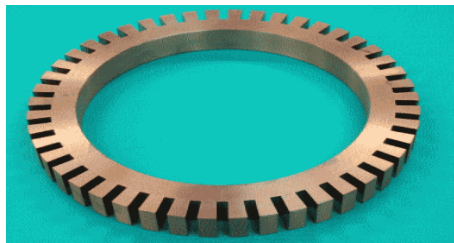
当社では銅丸棒・銅ブスバーや銅ボール、黄銅丸棒の製造だけでなく、多くの加工品の製造も行なっています。当社は、素材からの一貫で加工品を仕上げる強みを有しております。これによりお客様のご要求に合わせた材料選定、コストダウンの提案が可能になります。当社の加工品につきまして以下ご紹介して参ります。

1. 銅・黄銅リング

リング材の主な用途は電車や産業機械のモータのローターに使われる部品です。ローターはリング2枚にローターバーと呼ばれるバー材を組み合わせて製造されています。



ローター部品



ギア付リング

車輦用モータ

車輦用は製造ロットが多い事から、中空鍛造によりパイプ形状の棒を製造しその後 切断 NC 旋盤機で加工を行なっています。ローターバーをリング溝部（ギア形状）に挟み込むタイプも有り、お客様の要望により社内でギア加工や端面溝加工を行っております。

材 質：銅系（C1020、C1100）

サイズ：外径 200Φ台～300Φ台

産業用モータ

産業用モータは一台一台仕様が異なるため、1,000 t 油圧プレス機とリングローリングミルを組み合わせ、ローリングミル製法でシームレスリングを製造しています。その後汎用旋盤で加工しています。ローリングミル製法は、リング形状の素材を回転させながら圧延を行なうため、メタル組織が円周方向に流れ、結晶組織が安定しねじれやひずみといった問題が発生しません。



銅リング

材 質：銅系（C1020、C1100）

：黄銅系（C3604、C3712、C3771、C4621、C4622、C6782）

サイズ：外径 300Φ台～1,000Φ台

2. パイプ加工品

丸棒から内径を特殊なドリルで穴を開けるBTA(Boring Trepanning Association)加工を行っています。 当社の鍛造棒の製造技術と BTA 加工技術を組み合わせる事により、大径でかつ様々な肉厚のパイプ形状の棒を製造する事が出来ます。

材 質：銅系(C1020, C1100)

：黄銅系 (C3604、C3712、C3771、
C4621、C4622、C6782)

サイズ：内径 11Φ～500Φ 長さ 300～3000mm



パイプ形状の丸棒

3. 中空鍛造加工品

中空鍛造された製品の内外径を旋盤で機械加工し、パイプ形状で出荷するケースとパイプを輪切りにし、更に機械加工を行いリング形状で出荷するケースがあり中空鍛造は当社にとって重要な技術の1つと言えます。次頁の写真は、中空鍛造後、機械加工した製品です。



中空鍛造実施（内外径黒皮）



NC 旋盤による機械加工実施

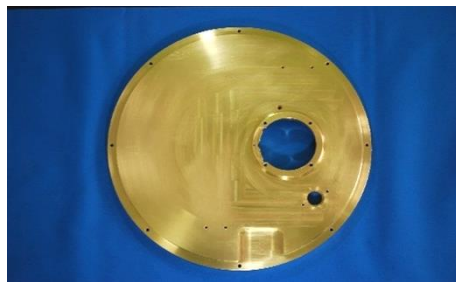
材 質：銅系(C1020, C1100)

：黄銅系 (C3604、C3712、C3771、C4621、C4622、C6782)

サイズ：内径 130Φ～230Φ 長さ 400～1000mm

4. 切削機械加工品

液晶パネルや半導体等の製造に使用されるスパッタリング装置（金属薄膜成形装置）には、バックングプレート（主に円形）という部品が使われます。冷却性能が必要な場合は、水冷式のバックングプレートが求められます。当社では鍛造で円盤状の材料を製造し、その後表面仕上げや冷却用水路部分の切削機械加工まで行なう事が出来ます。



銅



黄銅

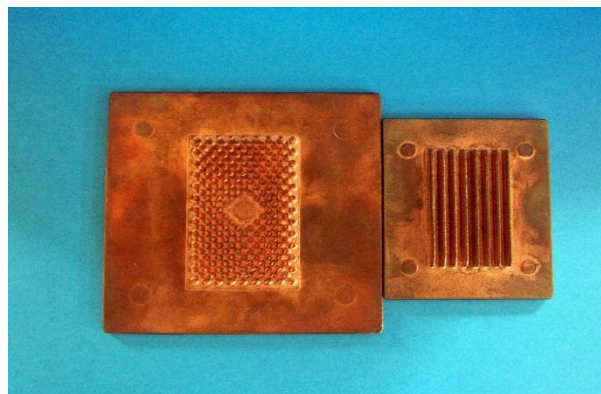
5. 型打鍛造品

当社の型打鍛造品の特徴は、金型設計→材料製造→鍛造加工→機械加工までの一貫で製品を仕上げる事が出来ます。又 鍛造設備が各種揃っていますので、熱間と冷間を組合せる事で小形製品から大形製品まで対応することができます。これにより 当社の鍛造技術を活かして、配電機器や電力コネクタ用途で大手需要家に実績があります。



型打鍛造加工品

又 昨今は、インバーターやサーバーの容量が拡大され、それに伴う半導体の発熱量が増え熱放出の機能を高める必要があります。その為 熱伝導率の高い銅を材料としたヒートシンク（熱交換器）の要望が増えて居ります。当社は、長年培った型打鍛造・機械加工技術で銅ヒートシンクの開発を進めております。



ヒートシンク用試作品

今後 お客様からのメッキやロウ付等の三次加工を含めた部品で納入して欲しいとのニーズに対しまして、当社ではさまざまな加工業者と協力できるルートの構築に力を入れ居ります。これにより加工品について様々な対応が出来るワンストップ営業を目指して参りたいと考えて居りますのでお引き合い等お待ちしております。

記者 宮本

3. 創業 100 周年記念式典

2018 年 10 月 11 日（木）12 時よりホテルニューグランド（横浜市中区）・レインボーボールホールにて古くからお付き合い頂いております伸銅品問屋様、主な金融関係様、主な株主様、約 50 名をお招きし、権田金属工業株式会社創業 100 周年記念式典を行ないました。

権田金属工業の創業の地が横浜市西区という事で、横浜のホテルを選びました。ホテルニューグランドは、横浜山下公園やマリントワーの近くに位置し、1927 年（昭和 2 年）開業の歴史あるクラシックホテルで、第二次世界大戦終戦直後にマッカーサー元帥が宿泊したホテルとしても有名です。

式典では白銅株式会社の角田社長様、山崎金属産業株式会社の山崎社長様に御祝辞を頂戴しました。

また乾杯の御発声を久野産業株式会社の久野社長様に、中締めのお挨拶を市原金属産業株式会社の市原社長様にお願いしました。

100 年の当社の歴史を振り返るスライドショーやピアノ・バイオリン・チェロによる生演奏等も盛り込み大変盛況な式典となりました。

100 年の間、お取引頂いた各社様に感謝すると共に、次の 100 年に向けて着実に一步一步歩を進めて参ります。今後共宜しくお願い申し上げます。

記者 日吉



4. 展示会報告

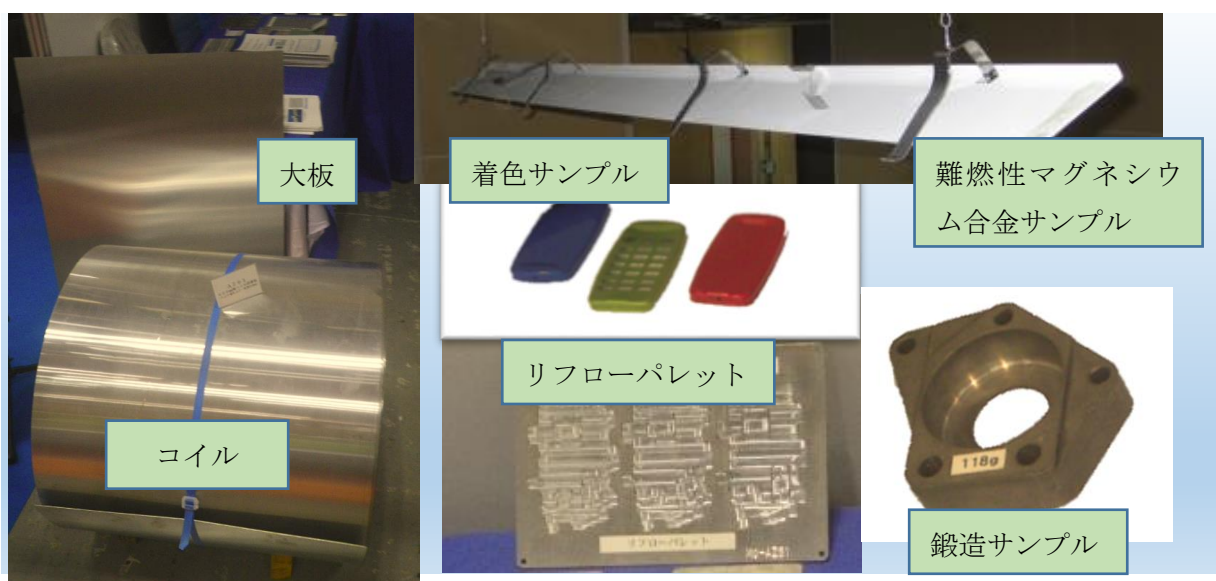
日本マグネシウム展

2018年10月17日(水)～19日(金)に東京ビッグサイトで開催された日本マグネシウム展に出展しました。

マグネシウムの普及と技術の紹介を目的としています。茨城マグネシウム工業会が主催し、マグネシウムに特化している展示会です。合計8社が参加しました。

「Japan Robot Week 2018」の一環として開催され、「Japan Robot Week 2018」全体では3日間で約3万2千人の集客がありました。

当社は、マグネシウムの大板(550mm×1000mm)、コイル、切削サンプル(リフローパレット)、鍛造サンプルなど特色のある製品を展示いたしました。



高機能金属展

2018年12月5日(水)～7日(金)に幕張メッセで開催された高機能金属展にマグネシウム製品と銅製品を出展しました。

マグネシウム製品は日本マグネシウム協会が取りまとめたブースに、銅製品は日本伸銅協会主催のブースに出展しました。高機能金属展には併設展と併せて約2万4千人の入場者がありました。



マグネシウムサンプル

マグネシウム製品は当社の特色の際立つ鍛造品、切削品、加工品を展示いたしました。銅製品の出品についても、鍛造品、ブスバーの加工品、黄銅太物丸棒切断品、リングといった特徴のある製品を展示しました。



上記の展示会を通じて 200 名近いお客様とお話しすることができました。又展示会場では貴重な意見を伺うことができました。会場まで足を運ばれた皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。今後ともよろしくお願ひします。お引き合いなどいただけたら幸いです。

記者 田中

5.第 126 回G K会

2018 年 11 月 27 日（火）に相模原ゴルフクラブ・西コースにて、第 126 回G K会を開催しました。

G K会は、当社のお取引先様との情報交換や親睦を目的としたゴルフの会です。

今回は私共を含めて 13 社 15 名の皆様にご参加頂きました。

当日は大変良いお天気で、11 月の終わりにしては、少し暑い位の陽気でした。

優勝は泉メタル株式会社の光永社長、準優勝は片岡金属株式会社の片岡社長、第三位は白銅株式会社の山田常務という結果でした。

次回は来年の 4 月頃の開催を予定しております。

記者 日吉



(前列向かって右から 2 人目が優勝の光永社長)

6. 相場情報『2019年第1四半期見通し』

1. 電気銅建値推移

2018年10月・・・750円スタート(10月平均744.7円)

2018年11月・・・720円スタート(11月平均741.0円)

2018年12月・・・750円スタート(12月平均727.3円)

2019年1月・・・690円スタート

2. LME指定倉庫在庫及び銅地金の需給状況

LME指定倉庫在庫は2018年3月末の38万トンに徐々に減少、2018年12月末の時点で約13万トンで推移している。需要面では中国の景気が振るわず、2018年7～9月の中国の実質GDP成長率は対前年同期比6.5%と、1～3月の6.8%、4～6月の6.7%から更に減速した。ただ中国は需要の伸び率は鈍化するものの、世界の銅消費の半分を占める現状は今後も変わらないと見られ、需要面では今後も中国の動向が注視される。一方供給面では、英国天然資源大手のベダンタが展開するインド最大の精錬所が、環境汚染を理由に2018年5月にインドの州政府から閉鎖を命じられた。これはアジア域の銅マーケットに大きな影響を与えた。また2019年前半は世界最大のサプライヤーであるコデルコが生産量減少を発表しており、世界的に供給不足は続きマーケットは引き締まると予想される。

3. 為替の見通し

国内では2018年は人手不足や原油価格の上昇などによる企業の生産活動の足踏みや、貿易戦争の懸念などの要因から景況感は悪化傾向が続いた。2019年を見通すと、原油価格は下落傾向になったが、企業の手不足感は未だ大きい。また米国と中国との貿易戦争も依然として解決の道を探れない状況である。そんな中、2019年1月3日の米国株式市場は、アップル社が『中国市場における予想を超えるiPhoneなどの販売不振』という理由による業績下方修正を発表した事を発端に株安が進み、安全性が高いとされる円に資金が流入、円相場は一時104円/\$台と、2018年3月以来の円高ドル安水準になった。また日本でも2019年最初の取引となる1月4日の大発会で、一時700円を超える大幅安となり、日経平均も2万円割れとなった。世界経済で見ると、元々欧州や中国では2018年後半から既に景気が減速していたが、米国経済は堅調さを維持し、ドル独歩高が進行していた。しかし2018年秋口から年末に掛けて米国経済や米国金融政策への不透明感が強まり、米国の減税効果も薄れ始めている。その為、今後は米国の保護主義政策による米中貿易摩擦の動向が懸念される。仮に米中の貿易戦争が悪化し、世界的に経済危機に陥った場合は、安全資産と見られている円が買われ、円高局面になる可能性が高い。

4. 今後の見通し

米国の保護主義政策から世界経済の減速リスクが強まっている事や、対米国との貿易摩擦で中国経済の伸びが今まで以上に鈍化すれば、世界経済は更に冷え込む可能性がある。実際に中国では、2018年12月31日に中国国家统计局が発表した12月の購買担当者景気指数(PMI)が好不調の目安となる50を割り込んでいたこともあり、米中貿易戦争の影響が具体的に表れ始めたとの見方が広がっている。ただ供給面では、インドのベダンタは依然として操業停止状態である上に、コデルコの生産量減少、各地の銅鉱山での慢性的なストの発生など、供給面での不安要素は大きい。また中国が環境汚染の軽減と国内産業の発展促進を図る為、中国国内への銅スクラップの他国からの輸入規制を2019年はより強化する事も予想される。以上の事から、米中貿易戦争に起因した今後予測される世界的な経済の低迷と、銅地金の供給面や中国の銅スクラップ問題の不安面が相殺され、相場に極端な変動は見られないと思われる。

短期予測(1M) LME \$5,700~6,300/ト 為替 105~110円/\$
 建値 680~730円/kg

長期予測(3M) LME \$5,600~6,600/ト 為替 103~113円/\$
 建値 670~760円/kg

記者 高橋

